

2022年09月20日(火)【外為Lab】松田哲
タイトル:【今週のメインイベントは、FOMC】

今週のメインイベントは、何と言ってもFOMCだ。

今日明日(2022年9月20日、21日)に、FOMC(連邦公開市場委員会)が予定されており、米ドルの政策金利の発表は、9月21日になる。

++++
++++

まず、今年8月のジャクソンホールでのパウエルFRB議長の講演に関して、述べておきます。

ジャクソンホールで行われたFRB(米連邦準備制度理事会)のパウエル議長の講演が、「ドル買いの材料」になっている、と考えます。

パウエル議長の発言内容は、「インフレを根絶するために利上げを継続する」ということ。

そして、「金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いこと」を示唆した。

++++

パウエルFRB議長は、次回のFOMC(=つまり、今月9月20日、21日のFOMC)で、「異例に大幅な」利上げを、もう一度実施する可能性もあり得る、換言すれば、0.75%の利上げの可能性もあり得る、と改めて述べた。

ただし、確実に実施するとまでは明言しなかった。

今月9月のFOMCでの利上げ幅は、今後のデータ(=今後発表される経済指標)に左右される、と述べた。

++++
++++

上述の通りに、パウエルFRB議長が、「今後のデータ次第」と述べたので、今月(2022年9月13日)の米国消費者物価指数(CPI)が、大いに注目されていた。

CPIは、インフレ指標の大代表であり、政策金利の引き上げの際に、最も注目される経済指標だからだ。

そして、先週（2022年9月13日）発表された米国消費者物価指数（CPI）は、市場予想を上回った。

つまり、インフレ傾向は、引き続き強い、という内容だった。

マーケット（外国為替市場）には、米国のインフレが沈静化に向かうといった思惑が広がっていたので、多くの市場参加者にとって、想定外（＝サプライズ）だった、と考えます。

+++++

今月の米国消費者物価指数（CPI）の結果、マーケット（外国為替市場）では、今月（9月20日、21日）のFOMCで、0.75%の利上げが実施されるであろうといった思惑は、ほぼ100%となった。

場合によっては、1.00%の利上げが実施されるのではないかと、といった声も強くなっている。

+++++
+++++

個人的な見解を述べるならば、今月（9月20日、21日）のFOMCでは、0.75%の利上げを見込んでいる。

ただし、個人的には、今月（9月20日、21日）のFOMCでの利上げ幅よりも、次回（2022年11月1日、2日）のFOMCでも、利上げが実施されるであろう、ということの方が、気になっている。

さらに、今年（2022年）のFOMCは、その次（2022年12月13日、14日）の会合がある。

つまり、今月（2022年9月）に利上げを実施した後で、年内に、さらに、2回の利上げが実施される可能性が高い、ということ。

米国の政策金利引き上げは、現時点で、まだまだ道半ばである、ということが、大変、気になっている。

+++++
+++++

（2022年09月20日東京時間15：40記述）